

～全国37か所の休暇村で3密回避取組みを実施中～
**自然にときめくリゾート休暇村
旅の新しいスタイル“ゼロ密のリゾート”を宣言**

全国37か所の国立・国定公園などに位置する休暇村を運営する一般財団法人休暇村協会（所在地：東京都台東区東上野、理事長：河本 利夫）は、これからもお客様、従業員、関係者など皆様の安全・安心を第一に、“ゼロ密のリゾート”を目指し日々取り組んでまいります。



紅葉に囲まれた休暇村婦恋鹿沢（群馬県）

<チェックイン時の感染予防対策>

全休暇村に非接触で検温できるサーマルカメラと飛沫感染防止パネルのキャッシャーガードを導入し、チェックイン時にすべてのお客様を対象に検温とご本人様確認を行っています。



飛沫防止キャッシャーガードの設置



サーマルカメラによる検温



ご本人様確認

<温泉・大浴場での感染拡大防止対策>

ご入浴の混雑時間を事前にご案内し、利用分散のご協力をお願いしています。



温泉・大浴場の混雑時間案内



一部ロッカーを閉鎖、脱衣時一定距離を確保

<レストランでの感染拡大防止対策>

テーブル数を減らし、フロアのご利用人数に制限を設けてソーシャルディスタンスを確保。各テーブルにもアクリルパネルやついたてを設置し、飛沫感染防止対策を講じています。



ビュッフェコーナーでの滞在時間短縮のためテーブルに料理一覧を配置



飛沫感染防止のため各テーブルにアクリルパネル等を設置



ソーシャルディスタンス確保のためテーブル数を減らし配置

また、紙製使い捨てトングや小皿に盛り付けた“トングなしビュッフェ”などを実施し、間접接触を防ぐための策も講じています。



紙製の使い捨てトングを設置(通常トングの場合も 30分に1回交換)



小皿に盛り付けたピックアップスタイルの“トングなしビュッフェ”



温かい料理などはマスク・手袋・フェイスシールド着用のスタッフが取分け



飛沫感染防止のため全料理コーナーにスニーズガードを設置



各テーブルには感染防止対策のアイテムを設置

<共用スペースの消毒・換気、スタッフの健康管理>

各休暇村館内においては、手指消毒用アルコールの設置、お客様の手に触れる箇所の消毒液でのこまめな拭上げ、定期的な換気を行っています。スタッフは就業前の検温及び健康チェックの実施、手洗い・うがいの徹底、指先殺菌を実施し、健康と衛生面を管理徹底しています。また、原則としてマスクを着用させていただいています。



共用スペースのこまめな消毒を実施
(画像：エレベーター内の消毒)



客室清掃時の消毒



スタッフの検温

<ゼロ密のリゾートを目指した取り組み>

休暇村公式サイト内 特集ページ <https://www.qkamura.or.jp/campaign/zero/>

◆企業概要

名称：一般財団法人休暇村協会

代表者：理事長 河本 利夫(こうもと としお)

所在地：〒110-8601 東京都台東区東上野5-1-5 日新上野ビル5階

URL： <https://www.qkamura.or.jp/>